

第65期 中間株主通信

自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月
上記基準日 毎年3月31日
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。

公告方法 電子公告の方法により行います。
ただし、事故その他やむを得ない事情によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
公告掲載 URL (http://www.sunwa.co.jp/ir3/ir_info)

・住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

・未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

・「配当金計算書」について

配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。

ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いします。

なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、配当支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただきます。

*確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。





グループ全体で未来の “あるべき企業像”を共有し、 長期的にご支援いただける会社に

代表取締役社長 山本 勢

ごあいさつ

株主の皆様には日頃から格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

当上半期の経営環境と業績につきましては、震災復興関連の内需増加は見られたものの、円高や世界経済の減速による輸出減少、中国との外交問題など、当社グループの主要ビジネスである産業用エレクトロニクス・メカトロニクス業界を取り巻く経済環境は大変厳しく、業績も前年同期を下回る結果となりました（P3以降参照）。経営者として忸怩たる思いです。

しかしながら株主の皆様への中間配当金は、日頃のご支援に報いるべく1株当たり10円の配当を実施いたしました。また期末配当金も1株当たり10円とし、年間配当20円とさせていただきます。

重点施策を継続し、 成長機会を確実に捉えた当上半期

今後の経営戦略を考える上でポイントとなる当上半期の成果は、新第7次中期経営計画（STEP1000）の最終年度として、グローバルネットワークを活かした総合力により、成長市場での業容拡大、業務効率化による収益力向上などを目指す重点施策において、高度な産業機器分野でのシェア拡大や、環境・エネルギー、医療・健康、社会インフラなど成長市場への取り組みが功を奏し、さまざまな分野で新たなビジネスの芽が育ち始めたことです。

また海外では、中国やASEANなどの新興国を中心とする成長市場で加速するお客様の現地生産に対して、長年着実に整備・強化してきたグローバルネットワー

クが存在価値が高まり、当社ビジネスの大きな強みとなっています。

創業からの“チャレンジ精神”“自立の精神” を発揮して存在価値を高める

当社は長年、大手優良企業とのお取引を軸に、独立系商社としての強みを発揮しながら、現在まで一貫して“ものづくり”の現場を支えるビジネスに取り組んできました。この思想はビジネスのグローバル化が進む今日も不変であり、その延長線上に新たな成長市場への挑戦もあります。また技術商社として、単なる販売だけでなくメーカーの営業技術を代行しながら、お客様のニーズに応える最適提案を行うコラボレーションを実現することが当社の使命であり、存在価値だと考えています。

そうした観点から、当社ではお客様のご要望を先取りする商品・ソリューションを提供する“現場力”を重視していますが、今後はその力を全社的な視点で横展開して総合力を発揮するとともに、グループのエンジニアリング機能の活用や、優秀な技術人材の確保などを通じて、技術商社として強靱な企業体をつくり上げていきます。

また海外事業では、国・地域の特徴を活かした各拠点の自立化を図り、グローバルネットワー



お客様の環境・エネルギー事業をトータルサポート（太陽光発電システム施工例）

クによる相互補完と相乗効果の発揮を目指します。特にニーズが高まる現地調達についてはお客様と一緒に商品・メーカーの発掘に取り組むと同時に、当社グループ独自の品質管理体制と、グローバル物流機能やメンテナンスまで含めたサービスを提供し、付加価値の高いビジネスモデルを構築していきます。



グローバルビジネスのサービス強化を目指し、平成24年10月、中国天津にも営業拠点を開設

常に10年先の姿を描き 全社一丸となって挑戦し続ける

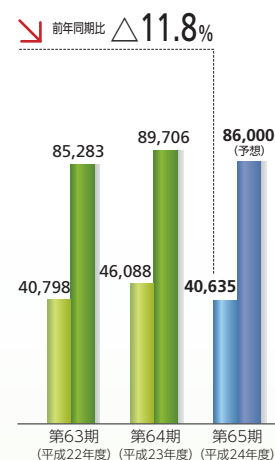
一方、経営の根幹を担う人材育成では、今年から、当社の良き伝統である“チャレンジ精神”“自立の精神”を継承するために入社3年研修制度をスタートしました。また、全ての企業活動の前提となるコンプライアンスについては、社員教育などを通して周知徹底を図るとともに、お取引先との信頼関係をベースとしたFace to Faceによるリスクマネジメントを実践していきます。

2008年秋のリーマンショックを機に、世界情勢は大きく変化しましたが、当社では今後も「人を創り 会社を興し 社会に尽くす」の社是のもと、全社員が議論しながら、常に10年先の“あるべき企業像”を見据えた経営計画を策定・遂行して、株主の皆様から長期的にご支援・評価いただける会社づくりに取り組んでいきます。

売上高

406億35百万円
前年同期比 54億53百万円減

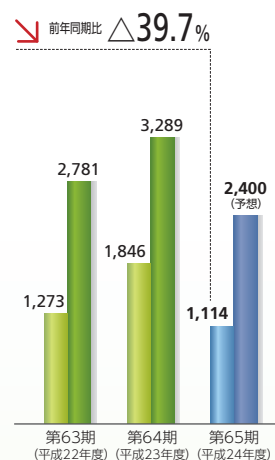
■ 第2四半期累計期間 (単位:百万円)
■ 期末



営業利益

11億14百万円
前年同期比 7億32百万円減

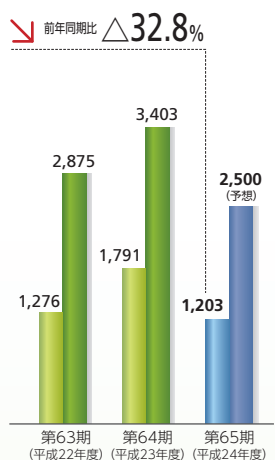
■ 第2四半期累計期間 (単位:百万円)
■ 期末



経常利益

12億 3百万円
前年同期比 5億87百万円減

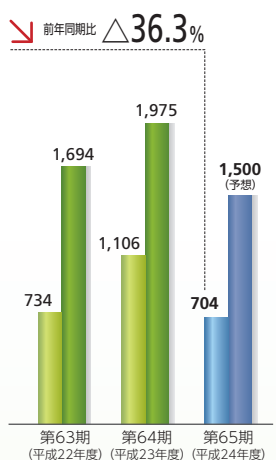
■ 第2四半期累計期間 (単位:百万円)
■ 期末



当期純利益

7億 4百万円
前年同期比 4億 1百万円減

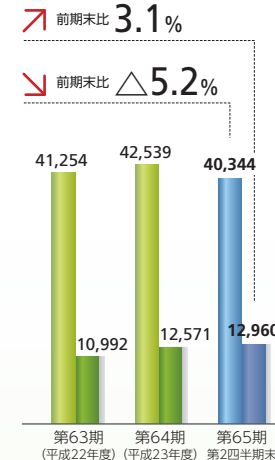
■ 第2四半期累計期間 (単位:百万円)
■ 期末



総資産／純資産

総資産 **403億44百万円**
純資産 **129億60百万円**
総資産前期末比 21億95百万円減
純資産前期末比 3億89百万円増

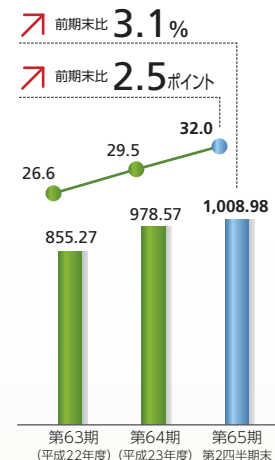
■ 総資産 ■ 純資産 (単位:百万円)



1株当たり純資産／自己資本比率

1株当たり純資産 **1,008円98銭**
自己資本比率 **32.0%**

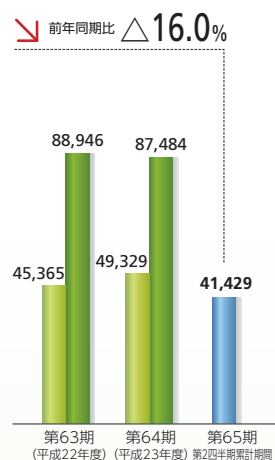
■ 1株当たり純資産 (単位:円)
● 自己資本比率 (単位:%)



受注高

414億29百万円
前年同期比 79億円減

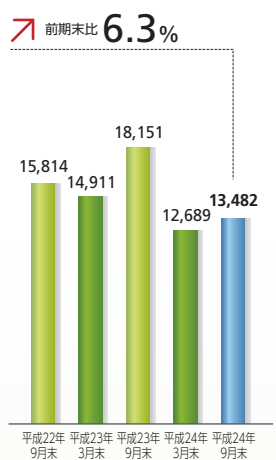
■ 第2四半期累計期間 (単位:百万円)
■ 期末



受注残高

134億82百万円
前期末比 7億93百万円増

■ 第2四半期末 (単位:百万円)
■ 期末



決算ハイライト

当第2四半期連結累計期間における当社グループの関連しております産業用エレクトロニクス・メカトロニクス業界は、中国向けをはじめとする輸出の減少等の影響により、特に半導体関連業界、産業機械業界は厳しい受注環境が続いており、市場は未だ厳しい状況にあります。

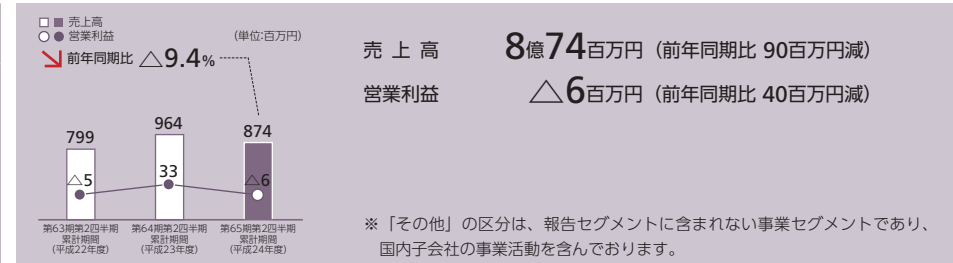
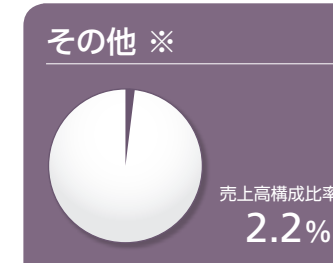
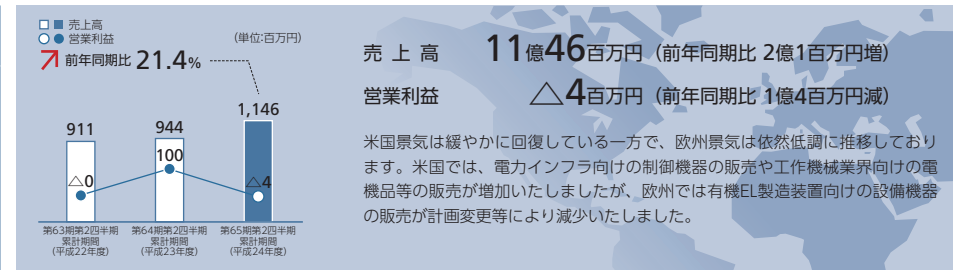
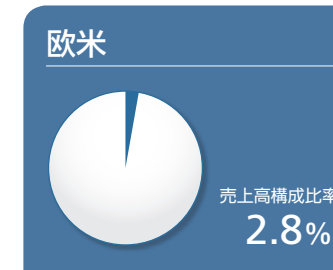
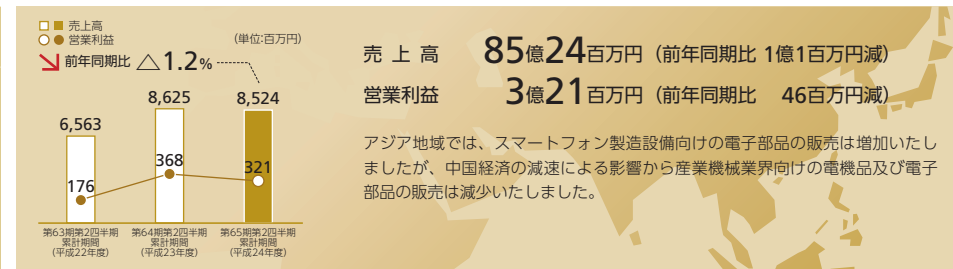
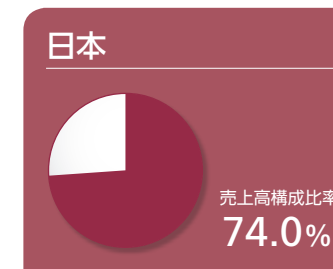
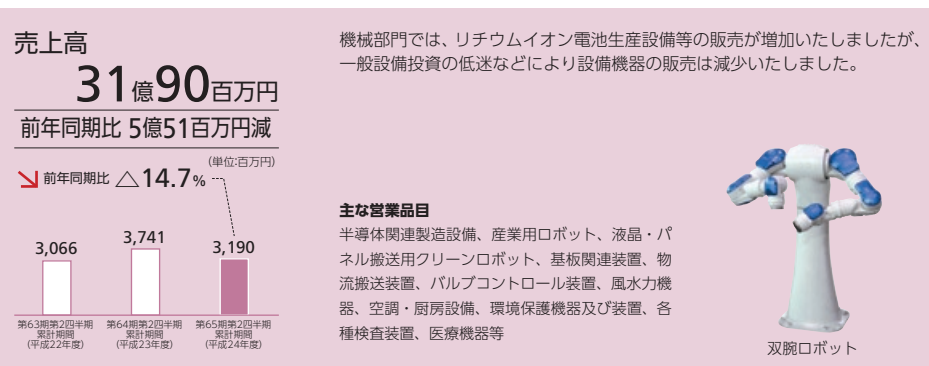
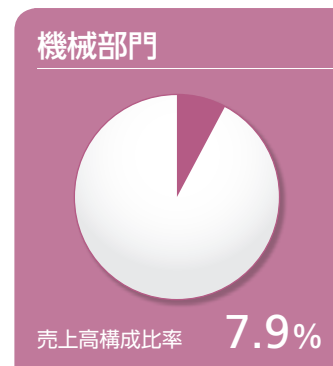
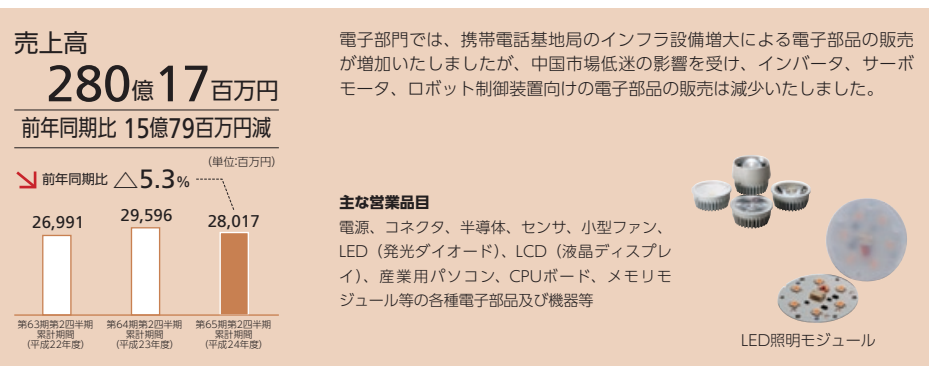
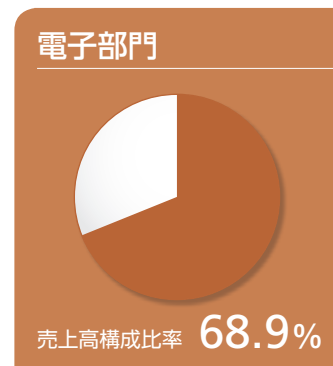
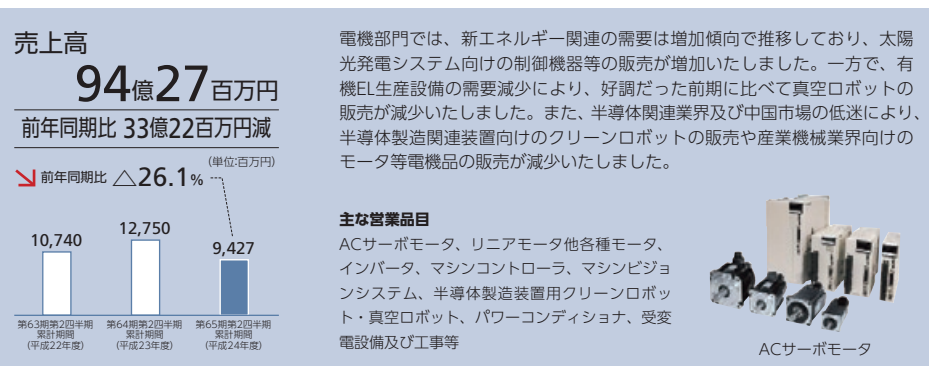
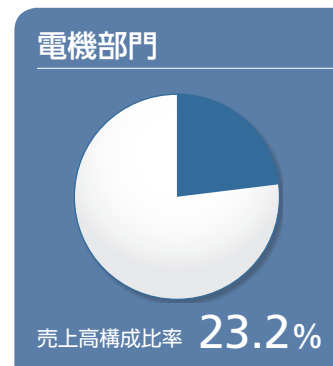
このような環境の中で当社グループは、新第7次中期経営計画（S T E P 1000）の最終年度として、グローバルネットワークを活用した総合力を発揮し、成長市場への注力による業容の拡大、業務効率化による収益力の向上等の重点施策に取り組んでおりますが、当第2四半期連結累計期間の業績は、前年同期を下回る結果となりました。

通期の見通し

今後の国内経済の見通しは、復興需要を背景に一部に回復傾向がみられるものの、長期化する欧州金融危機や円高が企業収益を下押しする懸念もあり、依然厳しい経営環境が予想されます。

第65期 通期業績予想

売上高	86,000百万円 (前年同期比4.1%減)
営業利益	2,400百万円 (前年同期比27.0%減)
経常利益	2,500百万円 (前年同期比26.5%減)
当期純利益	1,500百万円 (前年同期比24.1%減)
1株当たり当期純利益	117円12銭



四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目／期別	前期	当第2四半期
	平成24年3月31日現在	平成24年9月30日現在
(資産の部)		
流動資産	35,741	33,671
固定資産	6,798	6,672
有形固定資産	3,808	3,977
無形固定資産	44	36
投資その他の資産	2,945	2,658
資産合計	42,539	40,344
(負債の部)		
流動負債	26,914	24,752
固定負債	3,053	2,630
負債合計	29,968	27,383
(純資産の部)		
株主資本	12,396	12,973
その他の包括利益累計額	137	△50
少数株主持分	37	38
純資産合計	12,571	12,960
負債及び純資産合計	42,539	40,344

四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科目／期別	前第2四半期累計期間	当第2四半期累計期間
	自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日	自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日
売上高	46,088	40,635
売上原価	40,014	35,359
売上総利益	6,073	5,275
販売費及び一般管理費	4,226	4,161
営業利益	1,846	1,114
営業外収益	173	176
営業外費用	229	86
経常利益	1,791	1,203
特別損失	-	65
税金等調整前四半期純利益	1,791	1,137
法人税等	682	432
少数株主損益調整前四半期純利益	1,108	704
少数株主利益	2	0
四半期純利益	1,106	704

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目／期別	前第2四半期累計期間	当第2四半期累計期間
	自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日	自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	683	1,433
投資活動によるキャッシュ・フロー	△59	△42
財務活動によるキャッシュ・フロー	△341	△161
現金及び現金同等物に係る換算差額	28	18
現金及び現金同等物の増減額	310	1,246
現金及び現金同等物の期首残高	3,126	3,687
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,437	4,933



各拠点の住所と連絡先は当社ホームページ「事業所／関連会社」をご覧ください。

<http://www.sunwa.co.jp/>

サンワテクノス

検索

会社の概要

(平成24年9月30日現在)

設立年月日	昭和24年11月4日
資本金	19億3,500万円
発行済株式の総数	12,888,000株
従業員数	456名 (連結803名)
事業内容	メカトロニクス関連電気機器及び装置、プラント用電気品、電気設備機器の販売及び電気設備工事 各種電子部品・電子機器、各種OA機器、FAシステム、通信・情報機器等の販売 半導体関連製造設備、産業用ロボット、クリーンロボット、基板関連装置、物流搬送装置、バルブコントロール装置、風水力機器、各種検査装置、医療機器等の販売

役員

(平成24年9月30日現在)

取締役会長	山田 益二郎
取締役社長	山本 勢
常務取締役	岸本 達三
常務取締役	田中 裕之
常務取締役	田栗 政俊
常務取締役	福田 均
取締役	五十嵐 正憲
取締役	牧野 利彦
取締役	三根 省一郎
取締役	花山 一八
常勤監査役	青柳 繁
※監査役	石川 勲
※監査役	安國 一
※監査役	小林 純

※監査役 石川勲、安國一及び小林純の3氏は、社外監査役であります。

株式の状況

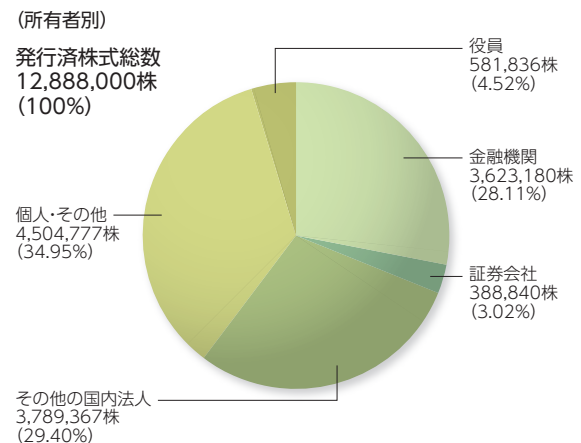
(平成24年9月30日現在)

1. 発行可能株式総数	33,380,000株
2. 発行済株式の総数	12,888,000株
3. 株主数	3,062名
4. 大株主	

株主名	持株数	持株比率
株式会社安川電機	797,280株	6.22%
第一生命保険株式会社	729,960	5.69
株式会社りそな銀行	545,160	4.25
株式会社三菱東京UFJ銀行	545,160	4.25
オリジン電気株式会社	498,000	3.88
オークマ株式会社	435,600	3.40
株式会社損害保険ジャパン	396,000	3.09
山田 益二郎	388,500	3.03
竹田 和平	379,600	2.96
オムロン株式会社	355,080	2.77

(注)「持株比率」は自己株式(80,126株)を控除して計算しております。

5. 株式の分布状況



海外子会社 事務所開設 (天津分公司) のお知らせ

SHANGHAI SUN-WA TECHNOS CO., LTD. (上海サンワテクノス) において、以下の通り中国天津市に事務所を開設いたしました。

【名称】
珊華電子科技(上海)有限公司 天津分公司
SHANGHAI SUN-WA TECHNOS CO., LTD. Tianjin Office
上海サンワテクノス 天津事務所

【住所】
中国天津市和平区南京路219号 天津中心2005室
Room 2005, Tianjin Centre, No.219, Nanjing Rd.,
Heping District, Tianjin, 300051, P.R.C.

電話番号 : (+86) 22-5836-9500
FAX番号 : (+86) 22-5836-9510

【開設日】
平成24年10月22日 (月)



IR放送のご案内

IR活動の一環として、ラジオNIKKEIの番組に山本社長が出演しております。放送内容は当社の事業概要、特徴、業績、新第7次中期経営計画 (S T E P 1000) など。なお、ラジオNIKKEIのホームページにて動画の配信も行っております。(詳細はラジオNIKKEIホームページをご覧ください。http://market.radionikkei.jp/8137ir/)

■ラジオNIKKEI 第1 16時15分頃～
「夕焼けマーケット」内コーナー「サンワテクノスIR特集」

放送日	第1回 平成24年5月30日 (水) 終了	第2回 平成24年8月1日 (水) 終了
	第3回 平成24年11月7日 (水) 終了	第4回 平成25年2月6日 (水) 予定

第1回～第3回は放送終了し、オンデマンドで配信中です。



個人投資家様向け会社説明会を開催

平成24年6月30日 (土) に朝日生命ホール (大阪) で開催された日本経済新聞社主催による「2012 個人投資家向け会社説明会 in 関西」に参加いたしました。当日は約400名の個人投資家の皆様が来場され、山本社長より新第7次中期経営計画 (S T E P 1000) を中心に、会社概要、当社の特徴と強みなどを説明いたしました。サンワテクノスでは、このようなセミナーはもとより、様々なIR活動を通して、投資判断に必要な情報開示を積極的に適時継続して行い、証券市場での知名度向上及び安定的な個人株主の増加を図っております。なお、当セミナーの説明資料は当社ホームページ (http://www.sunwa.co.jp/) でご覧いただけます。

